

活動報告

【大学グループと TOPIX 社長会のパートナーシッププラットフォーム企画第 3 弾】

上智大学主催、30% Club Japan 大学グループ後援のセミナー実施

2025 年 6 月 26 日に上智大学主催、30% Club Japan 大学グループの後援で、「女子学生のキャリア形成と大学院進学」というテーマで、上智大学四谷キャンパスでの対面とオンラインのハイブリッド形式でセミナーが実施され、約 120 名が参加しました。

大学では文系分野を中心に女性の大学院進学が敬遠される傾向を受け、大学院での学びの意義やキャリア形成への影響を考える機会を提供しました。

主な内容

杉村美紀上智大学長による開会挨拶では、大学院は専門性を深めるだけでなく、思考力・実践力を養う場であり、大学院進学がキャリア形成の礎になることを強調されました。

続く基調講演では、NEC 人材組織開発統括部の福士由希子ディレクターから、世界の女性たちが学び続けている現状を紹介いただき、大学院進学の意義を語っていただきました。

続いて、上智大学の大学院を修了した 3 名の卒業生から大学院進学とキャリアについて語っていただきました。

- ・グローバル・スタディーズ研究科を修了し、PwC コンサルティング合同会社に勤務する吉武希恵氏は、修士課程で得た論理的思考が現在の仕事の基盤となっていると話されました。
- ・理工学研究科を修了し、株式会社サイバーエージェントに勤務する和田波望氏からは、“楽しい”に全力で向き合う経験が現在の自信に繋がっているとお話がありました。
- ・同じく理工学研究科を修了し、株式会社電通に勤務する近藤杏奈氏からは、“やらない後悔より、やって後悔”という親の言葉が進学の後押しになったとのコメントがありました。

続いて理工学部斎藤珠緒教授をモデレーターとして登壇者を交えたパネルディスカッションが行われましたが、ここでは、大学院進学のメリットや課題、ライフステージとの両立などが率直に語られました。

参加者からは、「登壇者の姿に自分もそうなりたいと感じた」、「研究者以外の多様な進路があると知った」、「大学院での経験が“自信”につながるものが印象的だった」等の声が寄せられました。

横山恭子学生総務担当副学長は閉会挨拶で、“なんとなく学びたい”という気持ちを大切にしたいと述べ、大学として学生の進学希望に寄り添う姿勢を示しました。

参加学生にとって、大学院進学がキャリア形成においてどのような可能性を広げるのか具体的に知る機会となり、今後の進路選択に向けた大きな一歩となったと考えられます。

本セミナーの内容は以下の上智大学公式ホームページで詳細が報告されています。ご参照ください。

<https://www.sophia.ac.jp/jpn/article/news/topics/30club0626/>